



初任科第 96 期 初任科だより

消防学校ニュース vol. 1

～信頼される消防士へ～

令和 7 年 4 月 7 日(月)、県内 16 消防本部(局)で採用された 139 人の新任消防士が、期待と不安を胸に静岡県消防学校に入校しました。初めて経験する学校生活は、慣れない環境での挑戦の連続でした。特に、時間管理に対する意識の低さを教官から繰り返し指導され、初めは戸惑いも多くありました。しかし、日々の生活を通じて学生一人ひとりが個人として、また集団として何を考えて行動するべきかを学び、大きく成長する努力を重ねています。

入校から 1 か月が経過した今、依然として未熟な部分ではありますが、消防士として、そして社会人として恥じない姿を目指し、更なる向上心を持って取り組んでいます。そして、半年後の修了時には、胸を張って消防学校を巣立てるよう、時間を大切に、訓練や勉学に全力で励んでいきたいと思います。



～消防士としての覚悟～

入校して数日が経ち、本格的に授業が始まりました。座学では消防組織制度やサービスと勤務などの消防士として働く中で知っておくべき基本的な知識を学び、実科訓練ではロープ結索を始めとする機器取扱訓練、実際に放水を行う消防活動訓練を行いました。

初任科第 96 期のスローガンである『精神一到』とは、どんな困難でも精神を集中して行えば必ず成し遂げられるという言葉であり、このスローガンを胸に毎日を過ごしています。

座学や実科訓練以外の生活でも消防士に必要な素養を身につけるために様々なことに取り組んでいます。制服の着こなしを点検する通常点検、校内清掃、時間やルールを守ること、割り当てられた仕事をする事など、初任科第 96 期全員で声を掛け合って消防学校での生活がより良いものになるよう努力しています。

消防学校での学びを現場で発揮できるようこれからも覚悟を持って生活していきます。



～総代選挙！～

4月30日（水）に総代選挙がありました。初任科第96期の総代は、静岡市消防局の西川大暉に決まりました。また、副総代は、湖西市消防本部の山本大輔（1組）、志太広域事務組合志太消防本部の大村和巳（2組）、静岡市消防局の塩山朝日（3組）に決まりました。総代・副総代を中心に全員で声を掛け合い、切磋琢磨していきたいと思います。

発行日：令和7年5月28日

発行元：静岡県消防学校

制 作：静岡県消防学校 初任科第96期 文化委員

矢崎 裕大（掛川） 江田 望実（下田）

北山 智矢（駿東） 朝倉 卓叶（駿東）